

新型コロナウイルス感染防止のため、本誌掲載のイベント・講座などは、変更・中止する場合があります。


もくじ

えび人 vol.58	02	市民の広場／	
今号の表紙	03	きらめけ! えびなっ子	11
HUGHUG子育て	04	ホール・ギャラリー	12
新型コロナウイルス		相談	13
感染症関連情報	10	図書館	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日日時・日にち 期期間 時時間 場場所 対対象 定定員
 内内容 講講師 費費用 持持ち物 他その他 任任期
 条条件 主主催 Eメール ホームページ 問問合わせ
 申申し込み 予予約制 祝祝日を除く 休休み

 高齢者対象の教室など
  えびな健康マイレージ対象

 市制施行50周年記念プラス1事業

市外局番…省略している場合はすべて「046」です
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」で届きます
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな

新しくなっていく海老名を表してみました。
 杉久保小学校 能登奏羽さん(11歳)



写真

タイトル：夜の跨線橋
 撮影場所：海老名跨線橋
 撮影者：大谷北在住 釧持昭子さん



編集雑記

住民同士の取り組みで成り立っている地域活動。安心して日常生活が送れたり、イベントに参加できたりするのは、そういう方々の思いと地道な活動があるからだとしみじみと感じるようになりました。コロナ禍で中止が多かった地域イベントも徐々に戻ってきました。私も楽しみながら参加したいと思います。(M)



EBIBITO vol.58



子どもたちの成長が一番の喜び

杉久保小学校のあそびっ子クラブ、立ち上げに携わり、約20年にわたり子どもたちと成長を共有してきた岩崎さん。小学校1年生から中学校卒業までを見届けることも珍しくありません。出席した卒業式では「こんなに立派になっちゃって」と感無量になることも。子どもたちが巣立っていく時にくれた似顔絵やメッセージは、10年以上経った今でも大切にしていると話します。「感動的ですよね。こんな経験も子どもたちの成長も。楽しいなあと思っ日々を過ごしています」
 クラブには卒業してもふらっと遊びに来る子や、話しをしに来る子も。「子どもたちが自分を出せる場でもあるのかな」。まるで心安らぐ安全基地のような存在です。
 「これからも地域で子どもたちを見守る一員として頑張っていきたい。体が動くうちは続けたいですね」と力強く話す岩崎さん。これからも子どもたちを支え、共に過ごす日々は続きます。



夫婦旅行は月1回の楽しみ。全国を巡り、プライベートも活発に

今月のえび人

岩崎佐容子さん
 (大谷南在住・61歳)

あそびっ子クラブパートナーや学校運営協議会委員、学校応援団など地域の子どものために尽力。モットーは「悔いのないように今できることはすぐやること」。